まるっと蒲田NEWS

JCHO東京蒲田医療センター

2025年 9月号 September



血液検査の「気になる」にお答えします



どんな事を調べるの？

血液には、健康を知る手がかりが含まれています。
肝臓・腎臓・心臓などの臓器の働きや、
炎症、貧血、感染症が起きていないか調べられます。
血液検査は、病気の**早期発見**や**治療方針**を決めるために、とても大切な検査です。

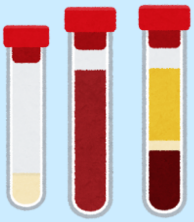
どのくらいの血液を採っているの？



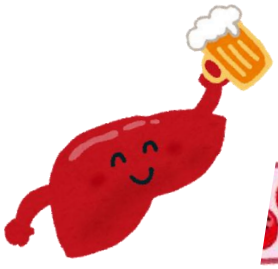
採血管

検査の内容によって、何本か採血することもありますが、**1本あたり**の量は**小さじ半分～1杯程度**です。

種類がたくさん！



検査項目





～今回は、よく調べる血液検査の項目をご紹介します～

・BS（血糖）　…血液中のブドウ糖の量です。糖尿病の有無や状態を見ます。

・HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）　…過去1～2か月の平均的な血糖値です。糖尿病のコントロールを見ます。



・T-CHO（総コレステロール）　…細胞やホルモンの材料ですが、多すぎると動脈硬化の原因になります。



・TG（中性脂肪）　…余ったエネルギーが脂肪として蓄えられたものです。多すぎると血管に悪影響があります。



・GOT、GPT　…肝臓の働きを見ます。AST、ALTともいいます。

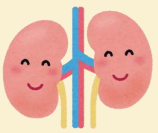
・γ-GT（ガンマGT）　…お酒に反応し、アルコール性肝障害で上昇します。



・BUN（尿素窒素）
CRE（クレアチン）　…腎臓の働きを見ます。高いと機能低下が考えられます。



・UA（尿酸）　…代表的な病気は痛風です。



・Hb（ヘモグロビン）　…酸素を運ぶ役割があります。低いと貧血や倦怠感、息切れをしやすくなります。



JCHO東京蒲田医療センター
〒144-0035
東京都大田区南蒲田2-19-2
TEL：03-3738-8221（代表）
FAX：03-5744-3280（地域連携室）



9月の健康豆知識
～夏バテ後の回復期～

ビタミンB群やたんぱく質をしっかりと摂りましょう。
特にビタミンB1は「疲労回復ビタミン」とも呼ばれ、きのこ類・豚肉に豊富に含まれています。